

GSV-B グループスーパービジョンB

講師	高山 恵理子 先生 上智大学名誉教授・高山社会福祉士事務所 代表※ ²		
内容	グループスーパービジョン		
受講要件	東京都医療ソーシャルワーカー協会正会員もしくは準会員 成果編集提出 (P1 参照)		
対象	実務経験 3～5 年未満		
受講料	無料 (東京都受託事業のため)		
会場	としま区民センター (池袋駅東口徒歩 7 分)		
日時	① 2026 6/9 ② 7/14 ③ 8/4 ④ 9/8 ⑤ 10/13	⑥ 11/10 ⑦ 12/8 ⑧ 2027 1/12 ⑨ 2/9 ⑩ 3/9	第 2 火曜日 ※ 8 月のみ第 1 火曜日 19:00～21:00 全回会場集合・対面形式
認定ポイント	日本医療ソーシャルワーカー協会認定医療ソーシャルワーカー認定講座 26P (欠席・遅刻・早退等からポイント発行に至らないことがあります)		
定員	9 名		
参考文献	あらかじめ指定するものではありません。初回自己紹介の際に、ご自身が拠り所としている 1 冊 をご紹介ください。 セッションの中で適宜文献を紹介いたします。		
申込期間	2026/5/1 (金)～6/1 (月) 先着順、未受講者優先		

講師より本講座のご案内

担当して 2 年目となります。このグループが対象とする実務経験 3 年・4 年目は、機関から求められる「役割」を果たせるようになる頃といえます。一方で、ソーシャルワーカーとしてこれだけののだろうかという疑問に思う事が出てきたり、もやもやすることが増えてくる時期なのではないでしょうか。SW としての基本的なスキルが身に着きつつあるなかで、SW としての「アイデンティティ」の観点から自身を振り返ることに焦点が当たる時期であるといえます。現場では、新任の SW に自身の実践を言語化して伝えることが求められる時期でもあります。このようなタイミングでは、実践における経験を実践現場から離れたグループという場の中で、メンバーと共に、あるいは理論に照らして振り返り考える経験が助けになります。本スーパービジョンでは、グループがこのような「振り返りの場」となることを目指します。

初回では、グループの進め方、自己紹介と職場の状況の紹介を行い、2 回目以降にメンバーの事例を用いたスーパービジョンを行います。各回 1 人のメンバーに事例を提示していただきます。

本研修においては、報告書作成を行います。事例提示の仕方等、作成過程においても必要に応じて相談しながら進めてまいります。

※ 2: 東海大学病院、松山リハビリテーション病院等でソーシャルワーカーとして 10 年の実践従事後、2000 年東京都立大学大学院博士課程単位取得満期退学。2000 年より立正大学、2005 年より上智大学にて、教育、研究に従事。2025 年定年退職。現在、地域で成年後見を中心に実践を行う。